

補助犬と使用者に寄り添う支援

# 働く犬



今号のはた犬ちゃん 引退介助犬Dちゃん

発行：働く犬を支援する会 URL: <http://www.hatainu.com/> TEL: 0463-54-4660 〒254-0082 神奈川県平塚市東豊田 594-32

## 教育研究カンファレンス

～子どもと動物～

栗田 直枝



デモンストレーション 空席さがし

平成23年6月11日（土曜日）、麻布大学にて第3回ヒトと動物の関係に関する教育研究カンファレンス～子どもと動物～が開催され、当会啓発活動の一環として行っている訪問授業について、発表の機会をいただきました。

カンファレンスの主催者、「ヒトと動物の関係に関する教育研究センター」をご紹介します。1995年4月にヒトと動物の関係学会が設立し、麻布大学介在動物学研究室は、この分野の教育と研究に取り組む、広く社会に有益な人材の育成を目的とした先駆的な存在でした。2007年10月、日本で行われたIAHAIO（人と動物の関係に関する国際会議）に続き、人と動物のより良い関係の構築、動物介在療法・活動・教育の普及を目的として、「ヒトと動物の関係に関する教育研究センター」の活動が開始されました。

カンファレンスの開催趣旨概略は、「近年動物が与える人への不思議な力が注目されてきたなかで、学校、高齢者施設、放課教室、病院など活躍する場が増える一方、そこにかかえるリスクや課題などは多く、動物を介在させた活動を実施している団体から活動報告やPR、課題など幅広い発表の場からこれからの人と動物の関係を考えていく「時」にきていると思われ、特別講演では教育現場での犬の介入など実践を交えて紹介、今回は犬が入れる会場を使い、よりよい人と動物の活動を広めていく機会、団体同士の横のつながりを広めるきっかけとなるよう発表と交流を深めます。」というものです。

カンファレンスのプログラムは太田光明教授のご挨拶の後、当会の発表、「子どもたちに伝えたい働く犬のこと」というテーマで、盲導犬への理解が進むよう行っている授業内容をお話ししました。特別講演、日本動物介在教育・療法学会・日本獣医生命科学大学の場美芳子先生の「動物介在教育の導入例」として、時計の読み方に関して犬を介在させるデモンストレーションの発表がありました。犬をどう介在させるかの具体例が示され、勉強をさせていただ

きました。休憩時には震災の募金活動が行われ、動物介在活動等で活躍している馬の入場に思わず感嘆の声が高まりました。会場は馬入場可の特別仕様とのことでした。

休憩の後、ヒトと動物の関係に関する教育研究センター伊澤都氏、放課後キッズワン教室の仲間「犬とのつきあい方放課後キッズワン教室での学び」、公益社団法人日本動物病院福祉協会CAPP委員長戸塚裕久氏「高齢者の家庭または高齢者が同居する家庭での、動物飼育が高齢者の生活に及ぼす影響の研究について」、ラブリーの会代表金田京子氏「エプロンシアター」、アニマルセラピーボランティアいずみ代表鈴木充氏「動物介在活動の実践！ボランティア団体運営の苦悩」、と各4団体の発表がありました。

発表ごとに、キッズワンの皆様の明るく真剣な顔、興味深い調査研究、ユニークかつ工夫もあり丁寧に作られた教材、セラピー活動の皆様と犬たちの笑顔が印象深いなかのご苦労、それぞれに教えていただくことが多く、私たちの啓発活動へ反映しワンステップアップを図りたいと思っております。また、ヒトと動物の関係において犬の持つ力は、当会の他の活動分野へも活かすことができると実感しました。この場をお借りし、拙い発表で恐縮でしたが、お招きいただいたヒトと動物の関係に関する教育研究センター、コーディネーターの伊澤先生とスタッフ皆様に心から感謝申し上げます。

ヒトと動物の関係に関する教育研究センター <http://ercz.jp/>

### ボランティア・スピリット・アワード

## 表彰式に参加して

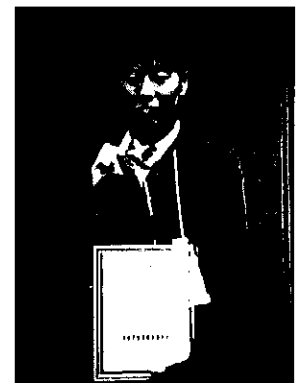
佐藤 美岐

昨年12月25日から27日に大阪で行われたブルデンシャル生命ボランティアスピリットアワード全国表彰式に行っていました。ボランティア・スピリット・アワードとは、米国最大級の金融サービス機関・ブルデンシャル・ファイナンシャルが95年からアメリカにて開始した青少年を対象としたボランティアを支援する制度です。現在ではアメリカ、日本、韓国、台湾、アイルランドで開催されています。

私は昨年9月にこの賞に応募し、ブロック賞・Spirit of Community奨励賞を頂くことができました。

応募内容は、私が行ってきた働く犬への啓発活動や当法人の理事を務めていることなど書かせていただきました。

全国表彰式では、全国から40名の小学生から高校生までが集まり、自分の行ってきたボランティアを模造紙にまとめ発表したり、ボランティアに関するグループワークなどを行いました。最初は初対面の人ばかりで緊張していた私も、同じボラン



ティアをする同士とても話が合い、いつしか笑顔になっていました。みんなの発表を聞いて、様々なボランティアがあり、とても勉強になったとともにいろいろな知識が増えました。表彰式ではたくさんの方々に参加していただき、とても有意義な体験ができました。最終日には、ユニバーサルスタジオリオに行き、楽しい思い出を作ることができました。

今回の表彰式に参加して、私の活動が評価され、貴重な賞を頂いたのも、先生や学校のチームの皆さんの支援と協力のおかげです。

この場をお借りしてお礼申し上げます。

また活動をたくさんの方々から聞いていただいて、働く犬たちについて少しでも理解していただけたと思います。今後は以前よりもっと積極的に活動に参加し、少しでもたくさんの方々に働く犬について知っていただけるよう努力していきたいと思っています。また理事としての役割をきちんと果たしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

# ごあいさつ

役員一同

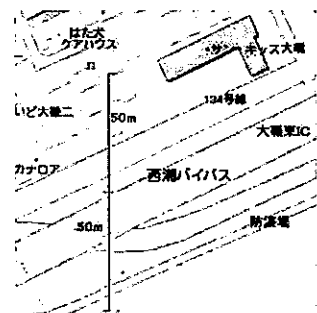
東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

今も原発事故で困難な生活をされている被災地の皆様の報道には胸が痛みます。当会一同、皆様のご健康と、復旧復興を深く祈念致します。

3月15日静岡県東部地域を震源とする震度6強の地震で、日本盲導犬 総合センター「盲導犬の里 富士ハーネス」の施設の一部に破損が起り翌日より修復工事を開始し、3月31日修復工事が完了したとのことです。短期間の工法など、当会の被災対策の参考にさせていただきます。

webによると日本盲導犬協会仙台訓練センターは5月25日、ほぼ2カ月ぶりに盲導犬の訓練が再開されたそうです。8月中旬、当会メルマガ担当宛に、「震災から5ヶ月が経ち、仙台センターは通常業務に戻りつつあります。沿岸部は、まだまだ復旧には、ほど遠いです。※平成22年11月1日から法人格を変更致しました。公益財団法人 日本盲導犬協会仙台訓練センター」とのお知らせを頂きました。

平成19年6月施行された改正建築基準法により設計施行された「はた犬ケアハウス」は、耐震耐火性には一定の強度があると考えていますが、相模湾に近く高さ約5mの防波堤から当ケアハウスまでの距離は100mもありません、5mを超える津波には無防備な現状です。



当「はた犬ケアハウス」は、平塚盲学校の留学生3名が週末にホームステイをしています。登下校時、宿泊時、宿泊時の外出等に大地震津波がおきた場合の避難場所、避難方法、停電への対応、食糧確保等の難問を解決しなければなりません。解決がつかまでは、新たな留学生の受入れを休止しようと考えています。非常時の避難場所、避難方法、停電への対応(ケアハウスは、オール電化です)食糧確保、給水槽の衛生についても順次対応策を検討したいと考えています。ワンちゃん向けの防災対策は、資金の許す範囲で逐次早急に行っていきます。

原発事故による節電には、オール電化の「ケアハウス」には再生可能エネルギーの太陽光発電(神奈川県年間日照時間1,667時間)が適していると考えています。

街頭啓発活動(募金活動)は、東日本巨大地震を鑑み休止しています。毎回街頭啓発活動に参加して下さるボランティアのTさんは、家族の方に募金チャンと呼ばれているそうです。募金活動を休止している間留学生の食事作りのスタッフに入っています、現在「ごはんちゃん」と呼ばれているそうです。得意な料理は、留学生の好物、カレーライス、焼きそばなどです。

大きな原資の募金活動を休止しているので予算額確保が重要な課題ですが、毎月ご寄付を振り込んでくださる方がいらっしゃる、大変有り難い上、大いに激励となって深く感謝しております。

昨年度に引き続き補助犬使用者や関る方々に犬と共に快適な社会生活ができるよう活発に活動していきます。当会の活動は、随時メールマガジン、ホームページ、機関紙などで引き続き広く公開していきます。今後ともご支援ご協力宜しお願い申し上げます。

## 平成21年度の事業報告書

事業報告書等の詳細は次のURLで閲覧できます。  
<http://www.hatainu.com/shushi/dai7ki.pdf>

### 1 事業の成果

前年度の実績を基に補助犬使用者皆さまや神奈川県立相原高校ドッグチームや麻布大学介在動物学研究室の皆様のご協力を得て学校関係の授業やイベントの実施、街頭啓発活動の実施をいたしました。ホームページ、メールマガジン、機関紙等を用いた総合的な啓発活動を行いました。補助犬使用者との研修旅行や講習会の実施により、補助犬の啓発活動を行いました。理事1名が退任し高校生の理事が誕生しました。

### 2 事業内容

#### I 特定非営利活動に係る事業

- (1) 補助犬等に関する調査研究及び育成団体への支援事業  
補助犬使用者の団体との意見交換のため平成22年ハーネスサミット長野伊那谷研修会に理事と会員が参加しました。
- (2) 補助犬等の退役犬施設運営及びケア事業

#### A 補助犬等の退役犬施設運営事業

はた犬ケアハウスの円滑な運営を確保するため街頭募金活動を年間14回行いました。得た寄付金は、運営費や器具備品の充実に回すために使用しました。

##### 街頭募金

江ノ島電鉄鎌倉駅前横浜銀行鎌倉支店仮店舗前

平成22年1月10日 3月13日 4月29日 5月4日 6月6日  
6月13日 6月20日 6月27日 7月3日 9月26日

江ノ島電鉄鎌倉駅前西口広場

平成22年3月20日 3月27日 4月4日

JR横浜線橋本駅前

平成22年4月11日

#### イ 補助犬のケア事業

補助犬使用者や当会の活動に賛同していただける方の家庭犬を対象に一時預かり、緊急預かりを行いました。平塚盲学校の外国人留学生の週末の宿泊、当会の活動に賛同しケアハウスを利用される方に、はた犬ケアハウス利用規定を整備し利用環境を整えました。

## 平成22年度事業計画書

事業報告書等の詳細は次のURLで閲覧できます。  
<http://www.hatainu.com/shushi/dai7ki.pdf>

### 1 事業活動方針

平成22年度は、前年度までの経験を基に、はた犬ケアハウスの運営及び設備の充実を図ります。補助犬使用者の協力を得て街頭啓発活動の実施、ホームページ、メールマガジン、機関紙等を用いた総合的な啓発活動を行います。無料で学校の授業等、市民イベントなどに協力いたします。補助犬使用者と共に研修旅行や講習会を実施し補助犬の啓発活動を行います。

### 2 事業内容

#### I 特定非営利活動に係る事業

- (1) 補助犬等に関する調査研究及び育成団体への支援事業  
 補助犬育成団体や補助犬使用者の団体との意見交換を行い機関紙、メールマガジンに掲載いたします。
- (2) 補助犬等の退役犬施設運営及びケア事業  
 ア 補助犬等の退役犬施設運営事業  
 はた犬ケアハウスの円滑な運営を確保するため街頭募金活動を年間18回行います。得た寄付金は、運営費や器具備品の充実を図るために使用します。  
 イ 補助犬のケア事業  
 補助犬使用者や家庭犬を対象に犬のシャンプー、一時預かり、緊急預かりを行います。補助犬使用者や当会の活動に賛同していただける方に、はた犬ケアハウス利用規定に基づきご利用環境を整備いたします。

#### ウ 研修旅行

はた犬ケアハウスの運営、補助犬のケア事業の推進のため補助犬育成団体の施設を補助犬使用者とともに見学、意見交換をおこない当会の施設のアピールを行います。

#### (3) 補助犬 セラピー犬に関する普及啓発情報提供事業

##### ア 普及啓発情報提供事業

普及啓発及び情報提供活動を実施するため機関紙の発行、ホームページの更新、メールマガジンの配信、親睦会の実施、無料で総合や福祉学習に協力します。当会の主旨に沿った市民イベント等への協力を行います。

機関紙発行（12月、7月）、ホームページの維持（随時）、メールマガジンの発信（11月、1月、3月、5月、7月、9月）、親睦会の実施（3月、7月）、学校、市民イベント等での普及啓発活動（10回）

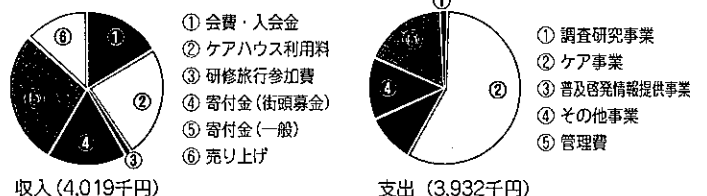
##### イ 普及啓発講演会

一般及び補助犬使用者を対象に、補助犬に関する情報提供を目的として無料講演会、はた犬ケアハウス多目的ホールで勉強会を開催いたします。

#### I その他の事業

- (1) 物品の販売 働く犬関連商品の販売
- (2) ホームページ、機関紙への広告掲載事業 機関紙への広告掲載

## 平成22年度収支予算



### ウ 研修旅行

平成22年7月17日 はた犬ケアハウスの運営、補助犬のケア事業の推進のため盲導犬の里 富士ハーネスの施設を補助犬使用者とともに見学、意見交換を行い当会の施設のアピールを行いました。参加人数 31名、盲導犬1頭、盲導犬の引退犬3頭、家庭犬1頭

#### (3) 補助犬 セラピー犬に関する普及啓発情報提供事業

##### ア 普及啓発情報提供事業

機関紙の発行、ホームページの更新、メールマガジンの発信、セミナー・勉強会開催、親睦会の実施、総合学習や福祉授業への協力を行い普及啓発及び情報提供活動を行いました。

★機関紙の発行 平成21年10月10日会報「働く犬」（第11号）を発行いたしました。印刷部数500部 無料配布数285部

★ホームページの更新 随時、イベントの紹介・活動報告などを掲載いたしました。

★メールマガジンの発信 11月、1月、3月、5月、7月、9月にメールマガジンを発行いたしました。  
平成22年9月の送信数420通

★親睦会の実施 平成22年7月31日（土）午後4時～9時「はた犬ケアハウス交流納涼会」を開催いたしました。  
参加者13名 盲導犬1頭 退役犬2頭 宿泊のご利用1名

★総合学習福祉授業等、イベントへの協力  
平成21年11月26日 平塚市立花水小学校 12月3日 平塚市立大原小学校 12月7日 平塚市立宗善小学校  
平成22年1月19日 神奈川県立相原高校 1月21日 平塚市立中原小学校 1月22日 平塚市立港小学校 1月23日 平塚市立旭日小学校 2月12日 平塚市立横内小学校 2月15日 相模原市立根戸屋小学校 2月19日 逗子市立小坪小学校 2月24日 平塚市立金田小学校 3月4日 逗子市立池子小学校 8月19日 学童こどもクラブ サクラ・はうす

##### イ 普及啓発講演会

9月11日（土）恒例のセミナーを開催致しました。

場 所：ひらつか市民活動センター 2F会議室

テーマ：働く犬は社会のなにか

補助犬や災害救助犬などの社会に貢献する犬たちを多くの方に知っていただき理解を深める。

第一部 補助犬の普及に向けて～麻布大学での取り組み  
「イヌと触れ合う五つの輪」～

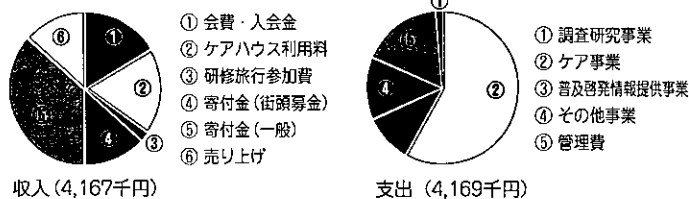
麻布大学獣医学部大学院動物介在研究室大学院生山本さん

第二部 研究発表 神奈川県立相原高等学校畜産科学科の皆様  
参加人数41名

## II その他の事業

- (1) 物品の販売 働く犬関連商品の販売
- (2) ホームページ、機関紙への広告掲載事業 機関紙への広告掲載1社

## 平成20年度決算報告



## ハーネスサミット伊那谷研修会(2011年)に参加して

小川 季子

「サミット」堅苦しいテーマに似合わず、愛くるしいワン公さんたちの面々が目にとびこんだ。

可愛い面々のために大事な、大事なテーマが柔らかくユーモアたっぷりの語り口で始まる。矢張りこれはワン公さんを本当に愛していないとこんな議論は出来ないだろうと感心しながら聞き入った。

サミットの意義は啓発活動や市民へ介助犬への理解等もあると思います。ある時、盲導犬の活動を見て、可哀想と云った人がいた。とんでもない自信満々で鼻高々と得意になって意気揚々と尊敬するパートナーを守っています。

忠犬さん達も、久しぶりに会ってうれしかったでしょうね。どんな話をしたのかなー。でもお仕事ですからお話は出来なかったでしょうね。アイコンタクトはとれましたか？

又逢える日を楽しみにしているでしょうね。

人間達は、寒天ばばの自然の中でおいしい昼食をし、寒天ばばの美術館で植物細密館の野村陽子氏の講演を聞き、素敵なハガキを買ってごぶさたしていた友人に送りました。

とても心に残った企画があります。駒ヶ根市社会福祉協議会のボランティア活動「たくふく便」の紹介をされた梶田ひとみさんの講演でした。

おわりに、介助犬とペアで日々を送っている事に依りメリット。課題等を皆さんで話し合ってもっともっと快適で安全な日々と過ごしていただきたいと祈る気持ちのサミットでした。

私は生れ変わった介助犬になりたいと思ったサミットでした。

坊所 こそえ

ハーネスサミットに日帰り参加いたしました。

サミットの運営形態に対する決議の後、長野の日本聴導犬協会を訪問し、日本聴導犬協会のパートナーのケアについて勉強会が繰り広げられたのですが、聞く話すすべてが新鮮、斬新で自称愛犬家の私も帰宅後、実践しております。特にリンパマッサージは訪問した犬たちも、うっとり～の体験となったようです。

パートナーたちにも今年の夏の疲れを癒してくれる、良いサミットになったはずですよ。

## 琴 ファッションブルコンサート イン チャリティ

主催者「筑紫須磨の会横浜市代表：志水歌須磨氏」により2011年1月8日(土) 神奈川県民ホールで開催され、2度目の有難いお招きをいただきました。

補助犬啓発活動の時間をいただき、皆様の大きな応援とご支援を賜りました。グッズの売り上げとご寄付等で122,266円ものご厚意となりました。心温まる多くのご支援に一同、厚く御礼を申し上げます。

## 2011年納涼会

宮川 元也

7月30日(土) はた犬恒例の納涼会を楽しみました。参加者12名。

今年のお楽しみは指導の先生の手ほどきを受け「草履の手編み」体験をしました。藁草履の藁の代わりに細長く裂いた古い布を編みこみ体験者夫々色とりどり特色のある草履が完成大喜びでした。

その後食事時間を利用して自己紹介、近況報告等、久しぶりの顔合わせとあって話すことも盛りだくさん、トークショーではないかと思われる位の楽しいお話を聞かせてください。お開きにする時間もずれ込んで大盛況でした。

### 募金箱を設置していただきありがとうございました。

(株)上野風月堂様 いしん堂様 宮瀬歯科医院様 後藤愛犬病院様 ギャラリーKAMAKURA蘇木様 サンコーポレーション様 コメダ珈琲上平塚店様 大坪歯科医院様 長谷川龍子様 自家焙煎カフェバモス様 タックス様 麺やBar鴻様 こりとリハウス様 河田動物病院様 Dog Salon Baby Dog様 三五郎様 (有)よしなが様 菊華大飯店様 周平様 湯けむり様 湘南ケアサポートわかばの会様 フジゴルフショップ本店様 鈴木晴一様 琴寿し様 成瀬産業株式会社様 コメダ珈琲藤沢店様

### 平成22年度 ご寄付、ご提供ありがとうございました。

磯崎恵美子様 磯崎法律事務所様 長谷川龍子様 高橋敏雄様 河田動物病院院長様 杉谷滋克様 岩永真代様 岩永葉子様 伊藤泰朗様 井田史郎様 筑紫須磨の会様 内田やえ子様 京野容子様 国分早苗様 海老原淳様 平塚市立神田小学校様 栗田郁子様 こどもクラブサクラ・はうす様 近藤映生様 杉田様 平塚市立花水小学校様 ヒトと動物の関係に関する教育研

究センター様 古澤直様 ヘジヨック様 松浦守様 松ヶ丘小学校様 宮川元也様 向井正男様 森田義貞様 わかばの会様 和田洋六様 丸山ティギー様 岩崎昭子様 五十嵐紀子様 五十嵐光雄様 長尾ミチ子様 平塚市立神田小学校様 神奈川県立相原高校様 谷口亀三郎様 中村愛様 鶴岡喜代様 日吉恵子様 福田住子様 平塚市立豊田小学校様 木村昭子様 新井ミチ様 福田貴与様 武田ナナ様 グループfufuいのかわ様 望月操様 安達明香様 近藤ルイ様 小川季子様 前田善行様 向井カナタ様 栗田忠生様 栗田直枝様

以上の方々からご寄付または、下記の品々をご提供頂きました。

椅子 事務用品 紙おむつ ごみ箱 ペット用ケージ 大型ドライヤー ペット用バスローブ ペット用マット シーツ タオル・タオルケット 茶碗 コップ等茶器類 台所用品 調味料 カラー、リード 食器 その他犬具など大切に使用させていただきます

今後とも当会へのご協力よろしくお願い申し上げます。

## 会員募集中

平成22年7月31日現在の会員数  
正会員29名、賛助会員95名、合計124名

賛助会員は一年間一口3,000円でお一人何口でも結構です。

申し込みのURL <http://www.hatainu.com/kain.htm>

正会員は入会費8,000円 年会費12,000円です。

申し込みのURL <http://www.hatainu.com/shain.htm>

加入は、随時受け付けております。

会員の方には、会員証、会報「働く犬」の送付、随時講演会などへのご案内を送付させていただきます。なお正会員は、社員総会での決議権や役員への被選挙権等を有します。会費は、ボランティア活動の謝礼から充当させていただくことがあります。更新は、入会または更新後約一年経過された会員の方に、当会からご連絡いたします。皆様のご支援ご協力お願い致します。

特定非営利活動法人

振込先: **働く犬を支援する会**

郵便振替: 00200-9-0130454  
横浜銀行平塚支店: 普通2036588

## 募金箱設置のお願い



木製募金箱

店舗などのレジの近くに募金箱を置かせてくださる方を募集しています。設置していただける方は、下記ホームページにてお申し込み下さい。

<http://www.hatainu.com/bokin.htm>